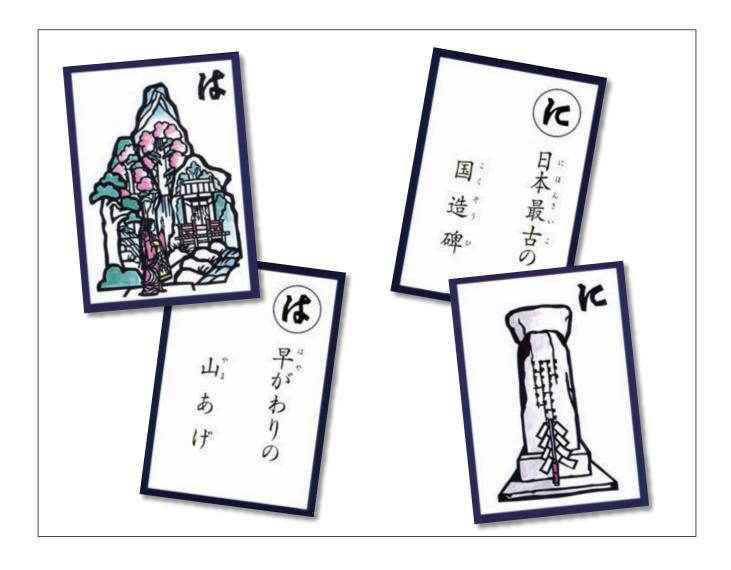
## とちざえい

No.139







### 「下野かるた」

楽しく遊びながらふるさとの 文化財、産業、名所旧跡など を理解できるかるたです。

800円 (税込)

### 目 次

第73回 栃木県芸術祭	
美 術 展	1
ホール部門	10
茶 華 道 展	17
文 芸 賞	18
芸術祭委員·受賞者	20

表紙写真:下野かるた 「は」「に」の絵札・読み札

# 第 73 回 栃木県芸術祭

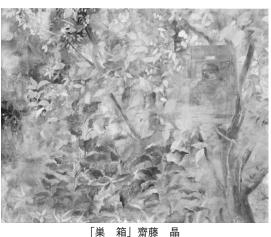
### 本画

若い世代が台頭してきた

### 審査員 佐藤孝義

新たな世代の感性が入り、 3点上回りました。 賞9点、入選35点でした。 今年の特徴は若い世代が台頭 の日本画の出品数は49点、 次世代へ 昨年より

覚が新鮮さと面白さを見出していま 部分的にアニメ風、イラスト風な感現、描き込みをしています。新たに ?待が持てます。 全体に時間をかけてリアルな表 限度を越さない程度の感性が必 描き込みをしています。新たに



箱」 齋藤

評価されました。

さい。 更に向上を目ざし独自性を磨いて下 要です。 今回まで出品された方々も

をみせ、 しています。巣箱の部分におとぎ話枝や木の葉の色で小さな空間を生か ふうのあたたかさと、冷静な目配り 樹木の空間を柔らかな色彩で包み、 述べさせていただきます 芸術祭賞の齋藤晶さん「巣箱」は 今回受賞した作者と作品について 楽しさがあふれ出る作品が

動きをよくとらえ、落着いた中に光 と反射する色・映りこむ影を生かし、 らけ」は画面全体の水の表情、 骨太な杭が画面に力強さを与えてい 準芸術祭賞の遠藤沙織さん 更なる向上を期待します。 小林駿さんの「夜の遊園地」 「朝ぼ 波の

は遊園地に止まった時間と空間、

「朝ぼらけ」遠藤沙織

ます。画面構成や岩絵の貝の使い方 ぐるみと遊ぶ自分の若い感性があり は幼子が画面の中におもちゃやぬい と時を感じさせます。 を更に工夫し続けて下さい。 U25賞の木下大輝さん「夢の中で」

さと楽しさがみてとれ、自然を観察山百合を画面全体に配し、はなやか奨励賞の長竹和子さん「追憶」は く力強いイメージを画面に構成して 夫があると清涼感がみえてきます。 います。茎と葉の茶色にもうひと工 し、表現することの必要性が表れて 同、山口昭さん「初音」は若々し

が、人物と動物のかきこみは新鮮ないます。初出品で試みとのことです りやかすかな風にゆれる花など空気 秋の深さを感じさせ、石蕗のかさな 表現です。大坦な絵具づかいがよい。 田恵さん「今に続く日」は



駿 「夜の遊園地」小林

世界をつくり出しています。のない世界を画面に構成し、 静寂なひ 空自別のの 遠近 合っており画面をひきしめていま 対象的な効果をあげ、自然にとけ つかい方などよくまとめています。 合歓の葉の下のはこべの小さな花が 同、青木操さん「そよぐ中に」は の処理をつかって おり、

色づかいが透明感を出し、

の豊かな恵み、光を含み複雑で深み さに励みのスタートになり一層の精受賞された方々の今後の作品はま ですが沢山の可能性もある表現です。 を追求しています。 のある土の色など画面にその面白さ は土の中にあるエネルギーや腐葉土 同、鈴木正一さん「土の中の白い光」 やさしい感性がうかがえます。 むずかしいテーマ

進が望まれます。

し評価されました。 三人の方は25才以下と若い力を発揮芸術祭賞、準芸術祭賞、U25賞の

れます。 テーマ、 日本画に向き合う楽しさを高めてく感心をもつことは感性を豊かにし、 して下さい。生活経験の中から得た 自己表現のため更なる感動を大切に 今まで出品された方々も 自然の移り変る世界に常に 新たな

総合文化センターにもどり、沢山のして下さい。来年は新たに改装した効果になって表われるか可能性を試 の過程も楽しみであり、どのような確かに手間と時間がかかりますがそいものです。岩料や箔などの表現は 作品がみられることを期待していま 日本画 の可能性はとても高く広

### 洋 画

## ズシッと訴える作品を 大谷喜男

的な感情表現をされ、 後五百年になる。 年(二〇一九年) ルド・ダ・ビンチの言葉である。 残した天才である。 科学や医学、 す技法は、 の代表作。 り人間の精神の技である」とレオナ 道画家チャールズ・ワーグマンを訪 よるもので、 デッサンこそが最高の学芸であ 一が幕末、 明暗、 揺るぎないデッサン力に 建築の分野まで偉業を 絵画だけではなく自然 は、 色調、 聖母子像など人間 横浜に英国人報 本県ゆかりの画 ダ・ビンチ没 モナリザはそ 立体感を表



「雨あがる」伊藤好昭

込む一瞬の日差しが温かく、

準芸術祭賞の平川玲奈さんの 物物

な空気が窓辺のカサブランカ

の「窓辺」は、

背景の爽やか

描 絵の具を手にすることが許された。 後に人物写生をやってのち初めて油 た。その指導が徹底してデッサン(素 国で初めて西洋の絵画が教授され れイタリアから教師を招聘し、 治政府による工部美術学校が創設さ 洋画界の礎を築いた。 ねて入門し、写実主義としての日本 であった。臨画、 明治九年に明 石膏写生、 最

具象、 れた。 作品が少なかった。 県芸術祭が栃木県立美術館で開催さ が見え隠れするも、 である。センスの良さのようなもの は一六三点で昨年より十二点多い。 さて、 抽象、技法の多様化は進み様々 洋画部門の応募者の搬入総数 令和元年に第七十三回栃木 ズシッと訴える

が受賞されたと思う。 う気持ちが感じられ、 でも作者の制作意図や描きたいとい 作品及びU25賞を選んだ。多少未熟 多数決で芸術祭賞を始め九点の受賞 決めた。賞は候補作品から審査員の 寧に鑑査し、一○七点の入選作品を 審査は七名の審査員が一点一点丁 心に残る作品

静かな心情と人生観が感じられ優作 芸術祭賞の伊藤好昭さんの「雨あ 雨あがりの製錬所に射し 作者の

「物語が灯る夜」 平川玲奈

寄せる。 望が交錯した様子が窺え本賞に相応 事である。 調とした色面構成が大胆である。も の中山光広さんの「ハナトヒト」は、 語が灯る夜」 ら作風が変化し今後の展開に期待を ともと描写力のある方で、 コラージュされた白い平面に赤を基 しく好作である。同じく準芸術祭賞 作者の未来への不安と希 は、 造形力と色感が見 数年前か

性が面白い。 ボールで造られたピサの斜塔 グリーンの階調がきれい。 が崩壊する様子を描いた意外 重二さんの「旅の想」 胆な構成で新鮮である。 丈夫さんの「太陽の子」は、 芸術祭奨励賞は六名である。 澤村絹代さん は、 柴田 段 大 坂本

> そう。 いに気持ちを込めて表現された。 肌と木が脇役として効果を上げてい 水面に落ち込む水の音が聞こえてき 長島美津子さんの「令風龍流」は、 のマチエールで心象的に描かれた。 を優しく包み込む。渡邉照夫さんの グリム童話の世界を画面いっぱ 石﨑旭さんの版画「グリムの里」 水面の描写が良く、 は、 大地に生きる羊を独特 左上の岩

は、 品である。 U25賞の橋本蒼さんの「Reincarnation」 何かが見えてきそうな楽しい作

さんの「友だち」は、 生命を楽しませてくれた。 の戯れ」は青を基調に水中の様々な 出ている。 あふれる好作で、作者の心情が良く んの水彩画「こもれび」は、 た作品を若干挙げたい。 ン良く私の好きな一点。 展示された会場から、 田中淳三さんの「水草と コンポジショ 玉上順子さ 私が注目 芝野孝陽さ 設楽芳枝 臨場感



「ハナトヒト」中山光広

まとまりのある作品。加藤喜三さんに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでに横たわる人物の顔と手が清らかでは、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面のクローバーんの「予感」は、一面の方面が表しませばいる。

したい。

したい。

したい。

したい。

したい。

記することが苦手だった私は、子供続けよう。教科書から知識として暗冒頭のデッサンの話題をもう少し

リアリズムは本来細密画では無く、いりアリズムは本来細密画では無く、こともあり、高校一年から放課後美に、安井曾太郎の木炭デッサン「裸時、安井曾太郎の木炭デッサン「裸婦」を見て言葉を無くした。理屈抜くでその存在感がすごいと思った。の頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだったの頃から絵を描くことが好きだった。

の情感や独創性が求められる。だと思う。AIが進む中、人としてをもって二次元の世界に現れることをある。AIが

ならば続けること。好奇心を持って。申しあげたい。絵を描くことが好きーの間しくも選外になられた方に

## 彫刻

# 運営委員 吉田利雄

祭賞一点、準芸術祭賞二点、奨励賞いう結果となった。賞の内訳は芸術と前回の七十二回展よりも七点減との出品点数は二十点(選外を含む)の出る点数は二十点(選外を含む)

だ作品が選出された。 前回の印象と比べる 前回の印象と比べる は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容 は欠けるものの、内容

> た。 由さが感じられる作品も多く見られ

手さはないが作品の内側から湧き出 彫による人物作品 鈴木泉「光と風 に対する実直さを感じさせる秀作と に対する実直さを感じさせる秀作と に対する実直さを感じさせる秀作と いえる。白い球体を持った女性が静 かに佇んだポーズから感じられる静 かに佇んだポーズから感じられる かに佇んだポーズから感じられる かに行んだポーズから感じられる かに行んだポーズから感じられる かに行んだポーズから感じられる かに行んだポーズから感じられる がはないが作品の内側から湧き出

> がっている。 藤を生み出す印象的な作品に仕上る力強さと静粛な印象が内面的な葛

的な印象に結びついている。 りーな表現方法ではあるが自立した 女性の内面的な芯の強さと自信に満 女性像で、一見動きもなくシンメト 女性像で、一見動きもなくシンメト 女性像で、一見動きもなくシンメト が外の想い」は凛とした顔つきの

もう一つの準芸術祭賞、御嵜翔太 をそのまま作品の要素とし、鮮やか をそのまま作品の要素とし、鮮やか な着彩を施した抽象作品。木材その を景色のように組み合わせ表現され を景色のように組み合わせ表現され を景色のように組み合わせる現され を景色のように組み合わせる現され を景色のように組み合わせる現され でおり、彫刻表現の可能性を感じさ せる作品に仕上げられている。

泉

「光と風と羅針盤」鈴木

は萩原幹雄「風になびく」。

丸



「朝焼け」御嵜翔太郎



「悠久の想い」木村滝子

り大きく感じられ動きのある作品に 支える構造体が少し中途半端な扱い に表現している。 性から生まれる時間の流れを抽象的 置した作品で、空間的な動きや連続 みを帯びた台形の板材を連続的に配 仕上げられている。 になっているのが残念だが、 台あるいは作品を 実物よ

再考させられる斬新さをもった作品 したといってもいい作品である。そ 古典的な彫刻技法からは完全に逸脱 像に似た作品が受賞した。 二つ目の奨励賞は長睦「アマドー 奇怪なフォルムを持った人物 「彫刻とは」ということを ある意味

> でもあり、今後の展開を楽しみにみ ていきたい。

が、 は若い作家に贈る賞として設けられ 若者たちに影響を与え作られた世界 ない要素である。メディアを通して わってくることへの共感も否定でき ていることは否めない部分ではある た。技術的表面的な表現が前面へ出 の作品としてこの作品が選出され たこともあり、現代的な新しい感覚 成して表現した作品 るU25賞は、 [Destination] 最後に、二十五歳以下に 作者の持つ世界観が素直に伝 人間と鳥の要素を合 が受賞した。この賞 手塚 **ふあゆみ** られ

> 待したい。 布石になってもらえるよう今後も期 える。彫刻の新しい概念を切り開く 観 した素直な造形物でもあるように思 心を動かされるもの」を形にし表現 の一人の表現者として、「今現在

な表現性も高く評価するべきではな 代を反映するジャーナリスティック ました。普遍的な価値と評価はどこ クな視点から評価すべきなのか、時 出され、彫刻作品としてアカデミッ 回の審査でいつも大いに悩んでいる かに共通した部分があるだろうと毎 いのかなど葛藤の中で審査が行われ 今回の審査会もいろいろな意見が

> す。 その辺の曖昧さと難しさに敬遠され ているのではないかとも考えていま ところです。現代の若者の美術離 (特にファインアート) の問題が

感じています。 なっていくよう微力を尽くしたいと た幅広い世代の美術家の発表の場に と感じており、 も美術に携わる我々の役割でもある にならないような環境を整えること 表現することに遠慮したり億劫 県の美術展が開かれ

### 審査員 高内秀剛

ながら苦渋の決断。その結果9点の 示することができた。 入賞と47点の入選作品を決定し、展 作品の審査には長い時間を費やし 審査される側の気持も思いやり

のこの展覧会を起点として栃木県と 素晴らしいできだと自負する。今回 の展覧会に出品しても全く遜色なく 受賞された作品については、



「鉄線編み盆」永井政夫

場で活躍出来る作家が誕生し だと思っている。 だけでなく栃木県全体の願い 誇らしい事だろう。私の願い てくれたらどんなにか嬉しく いう枠を乗り越え、 全国的な

ている。 を表現しながら、側 さ(広さ)を強調し 並べて、 底編みに色違いのヒゴを2本 2 芯巻きで形全体 一のたばね編みと縁 芸術祭賞の「鉄線編み盆」は、 雄大な広さ 平面の大き



「花筏Ⅱ」川上桂子



「雪こんこ」野澤邦江

組に雄大さを感じる佳作である。 を引き締めている。緻密な造形と編

原風景の中にあるひとこまかもしれ しかしたら私達の誰もが持っている 準芸術祭賞の「雪こんこ」は、 **‡**,

> じさせてくれる作品である。 の今このときの姿を物語りと共に感 布を生かし、イキイキとした姉と弟 ない。それが陳腐さを免れて木綿の

き立たせ、 織着尺で落ち着いた色調が模様を浮 風合いもよく高い評価と

遠くから見ると大きな作品の中に少 U25賞の「水流花弁紋陶球」は、

価となった。 い作品で、審査員全員一致の高い評 た。形、彩色、技法どれも素晴らし つれそのフォルムが断然輝いて見え し埋もれ気味であったが、 近づくに

道

# 重原聖鳥

術館において、九月七日から九月 道部門は昨年に続いて、栃木県立美 十七日まで開催された。 第七十三回栃木県芸術祭美術展書

ない状態)で鑑別審査を行い、 原聖鳥の七名がその任にあたった。 を、赤澤豊・柿沼翠流・久津美碧洋・ 五江渕霊水・嶋田周・日賀野琢・重 した作品を九月初旬入賞作決定審査 八月初旬「まくり」(表具してい 通過

名交り三四点・仮名二五点・篆刻 数一九八点・少字数四二点・漢字仮 相変らず厳しく六三・六% 三一点)。前回より微増。 応募作品点数三三○点(漢字多字 入選率は

性のある審査を重ね、 品を決定致しました。 すが、公正、公平、厳正にして透明 審査にあたっては、当然なことで 入選、 入賞作

# 同じく「花筏Ⅱ」は、 露发光彩 柿渋染の花 此 なった。 从井蚕雅 潜やみる

### ○審査総評

が占めたのは例年通りで、総じてレ な作品の研究が望まれる。 突出した作が少なかった。個性豊か ベルが向上してきているが、傑出 出品数の六十%を漢字多字数作品

### ○芸術祭賞

致で、気力充実の円熟味ある快作。 昨年準芸術祭賞、連続の受賞 力強く練り鍛えられた洗練された筆 神長雪華「新秋寄楽天」漢字多字数 力をこめて、グイグイと筆を操り、 快挙。

### ○準芸術祭賞

充満して、 く極く自然な運筆は、 高いところからの落筆、運腕大き 鈴木蓮徑「菜根譚」漢字多字数 実りの秋を彷彿させる力 伸び伸び書作。生気が 筆の開閉の変

## ○準芸術祭賞

構成が豊かな空間美を生み、墨の濃 的な作。下野書展賞と両手に花。 めた大字仮名作。文字の構成と行の ーモニーを奏で流麗な表現が魅力 見目月華「白露」大字仮名 百人一首から二首を連続しておさ 渇筆の巧みでリズム感が美しい

# ○奨励賞 (十点)

が生き生きとして造形の十分にこも る作で、気合の入ったみごとな作。 気脈貫通した行草体。 • 上村千嶂「黃任詩」漢字多字数 雄健な筆線

神長雪華 萩野谷香華「夏日雑興

漢字多字数

ただ、少し難解な文字がみられる。

「新秋寄楽天」 流れも極めて自然で安定感の高い品 淡々と気負いなく五十六文字の書 太細潤渇、

強弱と巧みに駆使。

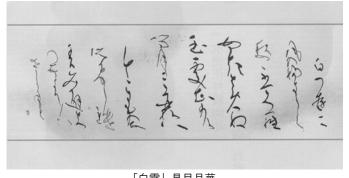
のある作

早 れ、流麗で自然な統一感を感じさせ、 による詩情豊かな作。 - 秋を彷彿させる。 長い修練に裏打された淡墨草書体 • 下司香雪「早秋作」漢字多字数 線が紙面に溢

• 中島志光「李攀龍詩」

た。 厚線で墨気豊かに雄渾にまとめあげ 材とし、実力を見せた錬度のある重 前漢時代に見られる肉筆文字を素 漢字多字数





「白露」見目月華

貫まとめあげた。線が沈潜し、健康

日ごろの習

の異体字を用いた四十九字を気脈

北魏風の峻抜な楷書作。

松本純美代

「鮑照詩

漢字多字数 時に独特

的で手慣れた運筆には、 練と自信がみえる。 更に墨量変化の工夫など今後の課

豊潤で温みがあり、空間の白との韻 力的。筆が無駄なく自然に運筆され、 運筆の浮沈の変化に富んだ線は魅 五月女章子「無」 少字数 良く、努力の結晶が存分に発揮され 文字の大小、墨の潤渇等の配慮も なものを得た佳作。

風景と空気が浮ぶ。 く心地よい快作。王朝文化の優雅な に演出して、リズムに乗り雰囲気良 仮名独特の流麗さと長文の中に雅

•室井大輔「田安宗武の詩

黒の世界を表現している。 字形の安定、 確かなる用筆法で白

変化は絶妙で、 ラストが美しさを高めた。 三行構成は、 が美しい。大字書作成の指針のよう

井上幸枝「露の朝」

漢字仮名交り

渡邉司寳「白木蓮」

太細、潤渇のコント シンプルだが、線の 漢字仮名交り

た安定感のある作。線質が重厚で、 書体と布字配列のバランスがとれ • 藤沼亜衣「老龍鉄幹」篆刻

朱白のコントラストが美しい。

塚田康樹「雲程発靱」 刀の切れ味が確かで、 将来が楽し

見守りたい。 を腰をすえて勉強すること。今後を 印を数多く彫ること。 篆書の 研究

あり、 酷暑の中専念された委員各位に深甚 なる謝意を表します。 搬入、鑑別、 僅差で選外になった作品が数多く 次回に期待してやみません。 審査、 展示、搬出と

ナップ写真を掲載していないと思

写

らない。 可の関係は複雑にからまり、一般の 人が撮影することはなかなかままな また、スポーツなどの撮影も、許

は場所も時間もピンポイントで決 存在する。おそらく、有名な撮影地 たことがあると思われるものも多く ターンというか、この風景写真は見 像権などの問題はない。しかしなが 写真が多い。もちろんこれらは、肖 応募作品をみると、圧倒的に風景 同じような場所で、よくあるパ

像権などをクリアにしていない状況 かで、個人情報、プライバシー、肖 が少なくなったと思う。理由は明ら

1角でのスナップ写真を見ること

審査員

吉田

繁

避けるために積極的には街角でのス

真賞などを扱うところは、これらを かられるからだ。写真展や出版、写 で勝手に写真を公開することがはば

> 真だ。しかし、このままだと人が作っ ものはいわゆる絵葉書的な綺麗な写 まってしまうので、そこで撮影した ティは全くない。社会的状況が厳し た美を真似するだけで、オリジナリ いうことにはならないだろう。 いからと、単に風景を写せばいいと アート写真を志す方は、こうし

なってきているのではないだろう た状況下で撮影できる機会が少なく

ごく自然のもののように思う。 りたいというアートへの欲求は、し 想像したい、撮影したい、物を作 しか

> なっているのも事実だ。 し、一方で社会的なルールが厳しく

えば、どうしても町の人を撮影した は、その中での工夫をしてみる。例 上記の法律的な問題が出るという方 から被写体を探したい。それだと、 が気になること、興味が持てること ントを上げておこう。まずは、自分 僕のオススメ、それとチェックポイ う声は相変わらず聞くことがある。 何を撮影していいかわからないとい を撮影するかだ。カメラはあるけど、 えてみたい。写真を撮影する上で何 ここで一度思考をリセットして考

う手もあるが、これだと、また、よ 撮影するところから始めてはどうだ くある写真になりがちだ。身近な人 トを撮りたいという方は撮影会とい ルの問題がない。個人のポートレイ いる分には基本的に法律的なトラブ いるので、ハイアマの方が撮影して 基本は撮影されることを前提にでて ろうか。祭りで繰り出される人は、 を撮影することから始めてはどうだ いという人は、 まずはお祭りなどを

りやイベントのシーンを上手に利用 は大いにあると思う。 くいという方もいるが、 イベントだと、人が多く、撮影しに しているように思う。大きな祭りや 今回の上位入賞者も、こうした祭 工夫の余地

体」もおそらくイベントのシーンだ 芸術祭賞を受賞された「人馬一



一体」小坂國榮 「人馬·

を明るくして馬や作業利用して、グリーン系 こうしたことに作者の ようにした工夫が見え、 意図を作り出す力を感 している方が浮き出る とがない。 風景は現実には見るこ るだろうし、こうした 現在は機械化されてい いう行為は、 赤外効果を には 田

ント感を薄くしていると思う。 こうした工夫が、悪い意味でのイベ 手に表現されているのではないか。 じる。それでいて、日本の文化を上

ている。おそらく宇都宮市内の公園桜の時期の日本人の心情をよく表し か、スナップだかはわからないが、をモチーフに使っているが、演出だ 準芸術祭賞の「春の誘惑」は、 桜

使われている。 が身近な場所を上手に での撮影だと思われる

4ベントと聞くが、こ 8時30分ぐらいからの のような夕景に見える 水地でのイベント。朝 闘う農夫」は渡良瀬遊 要だったのではない はそれなりの工夫が 同じく準芸術祭賞の



「春の誘惑」 雪田信隆

はた化使

もの

ベント

つて

日

写真が趣

を

綺麗な写

ろうか。 て上げたいこと クポイントとし ここでチェ

が、その内容についてだ。 らクリアにしていくことを述べた かけについては、 がある。法律的な問題、 身近なイベントか 撮影のきっ

が必要となるかだ。 写真を芸術として捉えた時に、 何

り上げるに際して、何が必要になる かということを考えたい。もちろん 写真というものを通して芸術を作

いよりに綺麗ない。かし、それだけ 「闘う農夫」髙岩重夫 写真でしか無い。 メッセージなの 誰 撮影する写真が のであることは か、そのメッセー 人の心に響くも に 対しての

るところから上は、興味の持て されてはどうだ 手に被写体を探 この一片 だ。 を表 本上の手 ま ッソ ず 文に L だ。 みれば、その時代を代表するような も大事なことなのだ。 を捉えるということは芸術にはとて カットだとわかりやすいだろう。 時代その時代を解き明かし、過ぎて 代の会長となったウィーンの分離派 したのは、グスタフ・クリクトが初術にはその自由を」という言葉を残 たい。「時代には時代の芸術を、芸 義や意味をしっかり考えてもら 真ではなく、そのことがもたらす意 れないものも多い。単に、 の人にはよくわかる世界観だが、 味とされる人の写真は、 えてもらいたい。一 作品が美しいだけでなく、その 般の人から見るとあまり理 般的に写真

たものに、芸術性は感じられる。 あるだろう。その個人が押し出され も言えるし、 になるのだが、 広い意味では、 人のアイデンティティが求められる。 てはならないかというと、やはり個 次に、作家がなぜそれをやらなく 日本人のということ 個人のということも 栃木県のということ

個人のカラーもよく出ていると思う。 この時代を彷彿されるだろう。また、 影されたものだが、時代がたつと、 今回の入賞作品も、明らかに今撮 撮影しにくい時代に、しっかりと 創作活動に励んで

ジが何をもたら

すのかをよく者

### 栃木県芸術祭 美術展イベント



書道部門「いろはでラッタッタ!!」



工芸部門 「竹によるブローチの制作」





写真部門「誰でもできる作品映えする フォトレタッチを学ぶⅡ」



彫刻部門 「円空仏体験 - 『平のみ』で彫刻をつくる - 」

洋画部門のワークショップ 「面白名画鑑賞」は、台風 のため中止しました。

### 栃木県芸術祭 作品講評会・批評会

文芸部門 作品講評会





美術部門 作品批評会



### ホ ル 部

### 楽

### 専門委員 吉田成之

開催することができました。 たが、幸い、十一月二日 を襲った台風十九号による甚大な被 木市の栃木文化会館において、無事、 「栃木県芸術祭音楽祭は、 令和時代の幕開けを飾る第七十三 開催が危惧されまし 関東地方

う激励の音楽祭ともなりました。 をいただき、早期の復旧・復興を願 青木千津子氏)の力強い歓迎の挨拶 栃木市長大川秀子氏(代理教育長

独奏一、重奏二、合奏一、合唱七の 計十三個人・団体が出演し、多彩で が、審査部門には、独唱一、重唱一、 充実した音楽祭となりました。 フェスティバル部門(無審査)に 合唱十一、合奏二の計十三団体

次のお二方を招聘、委嘱しました。 鈴木茂明氏~指揮者·審査員多数 酒井 敦氏~指揮者・東芸大准教授 なお、今年度は、審査委員として、

# ◎受賞者・団体及び演奏曲目

### ●芸術祭賞

西山好美・河合まりえ (高根沢町・二重唱)

バージン・トゥット・アモー カロ ミオ ベン 作曲 ピアノ 作曲 F・ドゥランテ T・ジョルダーニ 櫛引 里子

## ●準芸術祭賞

コール・キルシェ (宇都宮市・女声合唱 指揮 ピアノ 香川 瑞葉 阿久澤政行 十五名

憩らひ SALVE REGINA 作曲 KOCSÁR Miklós

■U25賞 該当者なし

作曲 作詞 尾形敏幸 立原道造

### 準芸術祭賞

鹿沼ポコ・ア・ポコ合唱団 いのちの歌 作曲 作詞 ピアノ 小島歩 安生明日香 (鹿沼市・児童合唱 Miyabi 村松崇継 山本治子 十九名)

富澤 裕

奨励賞

黒田 步

キ」より シェーナとカヴァ 歌劇「カプレーティとモンテッ ティーナ「ああ、いくたびか」 作曲 作詞 ピアノ 増山有美 (さくら市・ソプラノ独唱) ベッリーニ ロマーニ

### ●奨励賞

やわらぎ音楽クラブ(益子町・ パーカッション合奏 十二名) 組曲「惑星」より 作曲 ホルスト 木星

# そのときぼくがそばにいる 山本瓔子 大田桜子 ※次年度以降の栃木県芸術祭音楽祭

作詞

作曲

## について(お知らせ) 二〇二〇年度(第七十四回)

と き:二〇二〇年 十一月三日(火・祝)

ところ:栃木県教育会館大ホール ※当初十一月八日(日)開催予定 ため、やむなく変更になりまし 被災により開催不可能になった の矢板市文化会館が、台風19号

●二○二一年度(第七十五回) とき:二〇二一年 十月三十一日

ところ:栃木県総合文化センター メインホール



西山好美・河合まりえ





鹿沼ポコ・ア・ポコ合唱団

## 演

## 七年ぶりの「KID」 運営委員 山縣恒雄

ター小ホールで行われた。 昨年度に引き続き鹿沼市民文化セン 第七三回県芸演劇祭は十一月三日

と演出家の両方を演じた作品であっ という設定で、稽古風景をキャスト キッドブラザース」に由来するも は東氏がこの作品を演出したら…… が主宰したミュージカル劇団 劇団名のKIDはかつて東由多加 中央にテーブルと椅子のみの舞 椅子に座った時が演出家の役。 今回の一人芝居「KID白書」 「東京



の多加村氏は二十歳代に東氏に師事 増してきたと感じた。 いた。年輪を重ねるごとに円熟味が 願望といった感情を見事に表現して 人公。人間のもつ孤独感や寂しさや スを待つ数人の人達に話しかける主 公演である。寂れた街のバス停でバ 回上演している。今回は七年ぶりの はこの自作「KID」を過去にも数 し、崇拝もしているようである。彼 人公ジュンの役。作家(兼キャスト) テーブル前の四角い照明エリアが主

でいる。 生かした脚本が作れるというメリッ の一人が作・演出を手掛けた作品で たといわれる心霊スポットに恐いも りよがりになってしまう危険も孕ん トがあるが一方で客観性が失われ独 あった。創作劇は団員各人の個性を いったミステリードラマ。キャスト その中の一人が謎の死を遂げると の見たさの数人の若者が集まった。 溢れる舞台だった。一家心中があっ 芸参加。小山の白鷗大学のOBが中 心となる若手グループでエネルギー 駄菓子屋ぺんぎんは二年ぶりの県

ち上げるような演技(パントマイム) さいなく小道具もない状態で物を持 うな気がする。また舞台装置がいっ (テーマ?) のかが不鮮明だったよ 今回の舞台も何が言いたかった



劇団駄菓子屋ぺんぎん

だ。 を観客に納得させる必要があるから をするには訓練が大切。 虚構の世界

とである。 いることは部会にとって喜ばしいこ それにしても若い人達が頑張って

白川悟士

の上演を待つお客には楽しいサプラ 高梨さんという方で美しい歌声で次 イズだったと思う。 ロビー公演があった。オペラ歌手の 今年度も昨年に引き続いて幕間に

集って生じるある程度の犠牲を払っ ての「祭り」への参加を躊躇してい るのでは決してない。 なっているのが部会の課題になって いる。県内の演劇活動が衰退してい 近年演劇祭への参加団体が少なく 複数の団体が

多加

う。演劇祭の在り方も検討の時期に 演で参加している那須塩原市の「劇 来ている。 達だけで自由に活動したいのだと思 元のホールや小劇場 劇を作る会」が象徴するように、 団なすの」・茂木町の「茂木 de るのだと思う。毎年県芸への自主公 (小屋) で自分 演 地

運営面で非常にありがたかった。 で鹿沼市が共催してくださったので 今年も県文化協会事務局のご尽力

下の通り 各劇団のスタッフ・キャストは以 「名探偵は死んだのか」

音響=石村奈緒、 (スタッフ)作・演出=平田でん、 劇団駄菓子屋ぺんぎん 照明 = 佐藤遥香

五十嵐将嵩 (同上)、渡辺大和 (キャスト) (劇団AKⅡ) 稲葉里沙、 (同上) 鈴木海 鶴見真希 帆

☆アーパー) 音響オペ=夕岐萌(サイケデリック (キャスト) 多加村一則、 (スタッフ)作・演出=多加村一 「KID白書『B・S』」KID

## バレエ

MFジャズバレエカンパニィ

福田真由美

人間になりたい

狐の嫁入り

りずむって!

運営委員 柳 宏子

参加で開催されました。 佐野市文化会館大ホールにて佐野市 同公演は、十一月二十三日(土・祝) 文化協会・佐野市の共催で六団体の 第七十三回栃木県芸術祭バレエ合

込め精一杯踊りました。 とに深い意義を感じ出演者一同心を 会・佐野市の共催で舞台ができるこ 被害がありましたが、佐野市文化協 佐野市は台風十九号による甚大な

に楽しんでいただける舞台になりま 入賞者のエキシビション等、お客様 ンテンポラリーダンス、コンクール クラシックバレエ、創作作品、

出演団体(代表者)・作品は次の



スペイン舞踊スタジオ ソバレエスタジオ



# サンセレッソバレエスタジオ

1. 2. アニメージュシンフォニー アンダルシア

スペイン舞踊スタジオ(向田聖名子)

3 月冴ゆる夜(Mバレエアカデミー)

「鎮魂歌 故高木俊徳氏へのオマージュ

通りです。

(小池真美・小池清美)

MK.School of Ballet

1. Stop Time rag

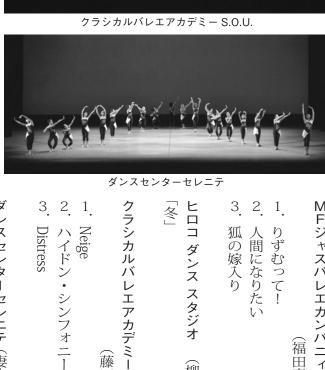
2. タランテラ

特別作品「African Piano」

3.

「ジゼル」よりペザントのヴァ リエーション

ナイヤーダと漁夫



クラシカルバレエアカデミー S.O.U ヒロコ ダンス スタジオ

Neige

(藤田恭子)

ダンスセンターセレニテ(妻木律子) 「急行列車で、GO\_ Sunset in the blue Distress

エキシビション 全国バレエコンクール入賞者による

# 吟詠剣詩舞

選抜吟詠吟舞・会長吟詠などを上演 地区構成吟舞・合吟・合舞

専門委員 大塚隆豊

した。 詠剣詩舞の祭典が十月二十日に宇都 宮市文化会館大ホールで開催されま 日本古来の伝統文化であります吟

にお集まりを頂き、舞台の設営、司 前日の夕方から多くの役員の方々

> 感謝を申し上げます。 業を行っていただきました。心より 会進行の手順及び会場周辺の準備作

方々のご来場をいただき、また、出 員が準備作業に入り、概ね六百名の 大会当日は、八時三十分から役

> ところでございます。 演者総数は延べ四百七十名を数えた

二十名が表彰されました。 ル・剣詩舞コンクール等の入賞者 まして、東日本・全国吟詠コンクー 式典の中で県連の特別表彰があり

寅舞・弍典は欠りさおりです。す。 今後の活躍が期待される方々で

演舞・式典は次のとおりです。

# ○地区別構成吟舞コンクール

(演題) 那須野が原開拓浪漫譚準芸術祭賞 北部地区協議会 芸術祭賞 中部地区協議会 芸術祭賞 中部地区協議会

をできる。 準芸術祭賞 南部地区協議会 「明治貴族が描いた未来」

の旅 心ときめく時の香演題)「令和元年・平和への願い

U25賞 鈴木澪心 関)「唐詩名吟選 唐詩と詩人達 受励賞 西部地区協議会

### ○式典

国歌斉唱・県連会詩合吟開式

大会会長 主催者あいさつ

県民生活部次長兼県民文化課長県文化協会長 飯塚真玄大会会長

千金楽宏

(所用のため欠席 祝電)辞 宇都宮市長 佐藤栄一様県文化協会事務局長 杉浦豊彦県 東東 船木優子)

**県連特別表彰** 

# ○表彰者リスト

令和元年度

吟詠コンクール東日本大会

青年の部

3 位

五月女智仁

吟詠劇詩舞の祭事

が年の部 五位 吉武伶実香 会国吟詠コンクール決勝大会 一般三部 入賞 藤田良治 一般三部 入賞 藤田良治

少壮吟詠家コンクール東日本大会少壮吟詠家コンクール決戦大会入賞 君島景子

東日本地区剣詩舞コンクール令和元年度

一般二部 二位 高根澤敏汀幼年の部 入賞 藤原おと舞

入賞 半田博子

一般三部 入賞 鈴木公男

華一角三岩

一般一部 三位 武井志保子青年の部 三位 土橋璃央奈

二位 八森しづゑ一般二部 優勝 五月女益美

全国剣詩舞コンクール決勝大会 一般三部 入賞 島田紀美子

○選抜合吟につきましては、栃木の選抜合吟につきましては、栃木

もので、ことあるごとに合同稽古をする全国吟剣詩舞道大会に出演するこれは十一月十日に国技館で開催

多級別諸島の祭典

とを確認いたしました。 積み重ね、一糸乱れぬ合吟であるこ

閉演となりました。露していただきまして余韻深まる中いても、各流派の堂々たる演技を披いても、各流派の堂々たる演技を披いても、各流派の堂々たる演技を披いても、といった。

終わりに、この度の栃木県芸術祭のました多くの皆様に改めて心よりいました多くの皆様に改めて心よりいました多くの皆様に改めて心よりいました多くの皆様に改めて心よりいました多くの皆様に改めて心よりに、この度の栃木県芸術祭

# 民謡は心のふるさと

### 飯村充代

なわれました。 沼市民文化センターにて盛大におこ 大会が十一月二十三日(土・祝)鹿 第七十三回栃木県芸術祭民謡民舞

参加者八十七名佐野市中央公民館、 百七十名宇都宮市田原コミュニティ 北部地区八月二十五日(日)参加者 フラザにて行われました。 予選会は南部地区七月十四日(日)

を決定しました。 含む五部門でそれぞれ準決勝進出者 線部門尺八部門に分け八木節部門を 参加者を年齢別に分けさらに三味

た。皆、 門七名、民舞部門七団体(予選なし) えのある舞台でした。 により、準決勝・決勝が行われまし んだ民謡部門百三十七名、八木節部 そして、予選会後さらに研鑽を積 実力者揃い、聴き応え見応

栃木県県民生活部県民文化課文化 本選に当たり県芸術祭主催者の

船木優子

鈴木源泉

栃木県文化協会副会長

栃木県芸術祭民謡民舞部会長 益子重介

らもご祝辞を頂きました。 の挨拶があり、また来賓の方々か

鹿沼市副市長

福田義

様

のご挨拶がありました。 続いて審査員の紹介と審査委員長 山菅昭八様

一般財団法人 日本郷土民謡協会 理事長 加藤 訓先生

公益財団法人 日本民謡協会 参与 仙波孝修先生

栃木地区連合会 般財団法人 日本郷土民謡協会

栃木県民謡連盟 会長 増渕貢風先生

県連合委員会 公益財団法人 日本民謡協会栃木 岡田貢峰先生

部から五名、八木節の部から一名、進め、尺八の部から四名、三味線の わい深い唄声が披露されました。計十名で決勝戦を行い、それぞれ味 木節七名から準決勝、決勝へと駒をがおこなわれ、民謡百三十七名、八 五名の審査員により厳正なる審査 副委員長 楯石淡耶先生

日本一に輝いています は九月の「越名舟唄全国大会」でも 足利市の篠崎きみ子さん。篠崎さん 越名舟唄」を見事に唄い上げた、 その中で芸術祭賞に輝いたのは



篠崎きみ子

賞に輝きました。 を凝らした衣装で舞い踊り、 地の民舞を披露しました。 士流民舞一千代会が民舞部門芸術祭 に「鹿児島小原節」を踊りきった富 そして地方伴奏に乗せて表情豊か 民舞部門は七団体がそれぞれ工夫 全国各

文化協会日本舞踊部会の皆様にご出 演頂きました。 また、アトラクションでは鹿沼市

烝花様 鷹光恵様 深川情話

とうございました。 心豊かにさせて頂きました。ありが 美しい舞姿、振る舞いに感動し、 岩井 富士八様「大江戸まつり」 「長崎ぶり・流れ灯」

ちが残った人もいたと思います。民戦に臨み唄い切った人、悔しい気持溢れていました。晴れがましく決勝この日、会場には元気な笑顔が を持ち生き生きと発表出来る事は素舞の方は団体で踊る充実感も緊張感 わかっていただきたいものです。す。是非、沢山の方々にその魅力を られるのも民謡民舞の素晴らしさで 晴らしい事です。若々しく健康でい

今年の受賞者は次の通りです。

民謡部門 芸術祭賞 越名舟唄

篠崎きみ子

準芸術祭賞 席 江差追分 鬼怒の船頭唄 岡田辰雄 福田精治

Ŧ.



富士流民舞一千代会

二席

五席 四 席 席 江差追分 磯原節 生保内節 信夫さんさ 米山甚句 小藤ツネ子 高山康夫 栗田忠治 大塚泰代 髙橋紀子

民舞部門 準芸術祭賞 芸術祭賞 鹿児島小原節 麦や節 富士流民舞一千代会 足利南扇会

奨励賞 一席 秋田おばこ節

二席 南部俵積み唄 新星初千代会

さんさ時雨 三喜流千津代会 美佐恵会

四席 席 栃木いちご音頭 鹿沼老人クラブ連合会女性部 日光和楽踊り 富士流 梢

### 邦 楽

一曲演奏会

# 専門委員 石林哲子

の浸水で、大変なことになっていま向う沿道は、冠水の後、床上・床下場、宇都宮市文化会館・小ホールへ朝は、風雨もやんでいましたが、会 ありました。お客様もどうかなと心 した。そんな中での開催でした。 後の合同曲を割愛して五時までに終合いの結果、一時間遅れで開始、最 大な爪痕を残して去ったあと、月十三日(日)、大型台風19号 配しておりましたが、そこそこ入っ ましたが、ソロが欠演になる会派も の日に向けて練習に励み準備してい りということで、当日を迎えました。 演。やむを得ない場合は、中止もあ おこなわれました。この決行につい てくださり、安堵した次第です。会 ては緊急対策会議が招集され、話し 来られない出演者もいました。こ 代十三回邦楽部三曲演奏会は十 大型台風19号が甚 とり

もしれないけれど、これが連綿と続祭で発表する。一人一人は短い時か注ぎ、切磋琢磨精進し、それを芸術の礎です。」と。芸事に熱き思いを ます。 いていけばそれは真に文化だと思い



「末の契」柊美会

六五四三 プログラムは次の通りです。 松の寿曲 嵯峨の秋 下り葉の曲 さくら・ 21 全国竹友会栃木県支部 双調会栃木県支部 白雲山会 竹仙会 陽会

「芸術祭は文化と創造

夏の曲

筝桜会

十 一 、 十九八七 四季の遊 末の契り 千代田の雪 琴三虚霊

> 玉風会 柊美会

コスモド・ラグーン 初音ことの会 竹峰会

松竹梅 アランフェス協奏曲 日本尺八連盟栃木県支部 沢井箏曲院宇都宮研究会 双調会栃木県支部

十十五四 紅色の空編曲松竹梅 岡康砧 宮城会栃木地区 坂本玉宏会合同曲

栃木県三曲協会会員

残念だったことは、 やはりプロ 演奏されな



「琴三虚霊」玉風会

たと思います。

県文化協会、文化会館、

皆様のご

広がりを感じていただける舞台だっ

れば、三曲の歴史そして、

普遍的な

グラム最後の合同曲が、

もの八番と出そろいました。高校生 も出ていただき出演者の年齢幅も広 いない状況にちょっぴり希望を持ち さて公演中身は、 古典芸能には若い人が 段もの八番、 /[\ 支援ご協力で実施することができま 一、長唄新曲 ` た。心より感謝を申し上げます。 小品集 長 清

この度は宇都宮市文化会館小ホー

運営委員

坂東右八朗

てていただき、ご見物にお届けでき

のお力をいただき、

舞台を飾り建

がりました。

らしく小道具担当の方のご協力と照

にはつきものの大道具はなく、

、それ

ルでの開催でした。

日本舞踊の舞台



「コスモド・ラグーン」 沢井箏曲院宇都宮研究会

番組は次の通りです 唄 島の千歳 青海波 中村 若柳 芝穂 綾佳

京の四季

坂

東

- 15 -

りました。

会派の演奏は、

古典ものから現代

た山田流の先生には大変お世話にな なってまとめ、ご指導してくださっ

もの、尺八の渋い本曲などです。

ح

のプログラムを一通り聴いてもらえ

大和楽 長唄 俚奏楽 園生の菊 菖蒲壳 あやめ 椿慕情 奥山もみじ 池田美和子 堀 西川古扇也 小川はつ恵 礼子 和佳 菊都

長 荻 長唄シンフォニー 浅草田圃 西川

熊本さわぎ

藤間万吏也

西川由味乃

翠

常磐津 フィナーレ 長清 唄 元 山姥 雪月花 花 月 藤間紫乃嘉 花柳奈美京 出演者全員 坂東右八朗 水木 歌柚

玉屋

最後の長唄「雪月花」は、 に捧げます。段もの小もので上演し、 われる演目で始まります。今回は清 元「青海波」で幕開け、劇場の神様 日本舞踊のこと始めはご祝儀と言 令和元年

宝生流

箙キリ 花月キリ

宇賀神祥男

番の合計二十八番が上演されました。 観世流の素謡「清経」を皮切りに、三流 生流合わせて八十三名。定刻の十時から、 合わせて素謡十七番・連吟三番・仕舞八 当日の出演者は、観世流・喜多流・宝

穏やかな秋晴れの下

運営委員 恩田系子

加されたり、新しいメンバーの参加も あったりしてにぎやかに楽しい一日でし 九十三歳になるベテランがお元気に参

都宮市文化会館小ホールに移して二年

総合文化センター改修に伴い会場を宇

謡曲大会が、十一月十日(日)開催され 目、第七十三回栃木県芸術祭第四十四回

会場の使い方や連盟総会の持ちかたに

時刻通りに、仕舞「猩々」を最後に無事 時間超過も心配していましたが、予定

当日の番組は次の通りです。

観世流 観世流 東 井 遊行柳 杜 北筒 若 経 圓谷 勝他 川上光枝他 丸山洋子他 高野嘉子他 木村敦美他 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮

加者一同張り切って演技することができ

のご来賓にもご多用の中お越し頂き、参

また、県文化協会事務局長を始め多数

事終了できました。

タッフの親切な対応のおかげもあって無 も慣れ、参加者の皆様のご協力や会場ス

ました。有難うございました。

観世流 観世流 観世流 喜多流 観世流 宝生流 観世流 宝生流 喜多流 宝生流 宝生流 三井寺 楊貴妃 玉 猩 盛 豊田イツ子他 横井川ノリ子他 堀越 功他 髙木秀子他 菅谷怜子他 松林和子他 荻原美江子他 木村守夫他 佐藤 豊他 戸好達衛他 重満武仁他 宮地 巌他 壬生 宇都宮 宇都宮 さくら 大田原 宇都宮

> 観世流 観世流 観世流 観世流 観世流

猩々キリ 敦盛クセ

青木清子 大塚紀子

> 那須塩原 那須塩原

経正クセ 高砂キリ

湯沢有子

宝生流 宝生流 岩 融 経 清水秀一他 金子英敏他

> 足利 宇都宮

中村弘平他

宇都宮

西王母 小督キリ 成田幸太郎 海老原裕子 宇都宮 下 野

> です。 の国民文化祭の新潟市で踊ったもの

めました。 そしてフィナーレで会員全員で締

充実感に覆われ明日の希望に繋がり が、やはり古典に触れている思いは 毎年のことながら大変な行事です

で毎日をすごしております。 日本の古典の世界に触れている事



宝生流 箙

丸山達子 戸田貞治

那須塩原

## 鹿沼市で開催 運営委員 青木宗栄

室・中会議室・視聴覚室・和室の四 多目的ギャラリーを華道展、 いようにと、 各市町の担当の先生方の御不便の無 のしつらえ、消防署の許可も頂いて、 参りました。限られたスペースで、 と、メモや資料を作りながら進めて でした。そんな事を察してくださっ 感で大きな不安に押しつぶされそう は役に立たないことに気づき、責任 が決まった時から、 鹿沼市民文化センターにて開催する 早い令和元年十月五日、六日、第 真夏の気温が続き、秋景色には少し にそれぞれ担当について頂きまし つを茶席、呈茶席を中庭に。 た、県関係者の方々、又ここ二、三 ことができました。 七十三回栃木県芸術祭茶華道展が、 朝 大型バス四台(足利、佐野、益子) 脱の冷気は感じられながらも、 休憩室、 御支援を戴きながら怠りなく 開催地であった先生方の、御 鹿沼茶道部会の先生方 接待室と電源や水屋 十一年前の経験 鹿沼市での開催 待合や 大会議

> は秋天が広がり、茶席の開きを待つ くの見学の方が入られていました。 は、新聞の影響も大きく会場には多 流派の華麗なる見ごたえのある華展 でに五日(土)より十五市町、十九 和服姿の皆様が並び始めました。す をもみながらも、茶席が始まる頃に を手配。前夜から降りだした雨に気 た。すぐにバス誘導のシルバーさん の駐車場を交渉確保くださいまし 市文化協会が少し離れた御殿山球場 場に止めて頂く余裕が無いとの事 は当日、 文化センターの駐車

華道展 川上鳳雲

術祭、 の方が、 力作を飾ってくださいました。 会場の鹿沼市民文化センターでの 十月五日(土)開幕。 十五市町を代表する八十八名 ハイレベルで、素晴らしい さすが県芸

づくりを准 粛々と会場 りながら、 人の力を借 を継ぎ、職 輩方の意志 同 諸先

ゆったりと配置しました。 華道部員

呈茶席

一階中庭

鹿沼市茶華道協会

野新聞SOONに、「迫力、 されました。 めました。 茶華道展」の見出しで、記事が掲載 八十八点ずらり―鹿沼

ワイド版紙面及び、パソコンやス と親交を深め、皆でつくりあげた、 令和初の華道展。 マートフォンで読める電子版、下 十月六日(日)の下野新聞、全県 会場に集った各地の出瓶者の方々

鹿沼市から発信。 し上げます。 「栃木県いけばな芸術の祭典」を 関係各位に深謝申

青木宗栄

誇りのもとに時節に相応しい豊かな お席が造られました。 伝統総合芸術茶道、 茶人としての

第 席 中会議室 鹿沼市茶華道協会 大日本茶道学会 戸倉哲仙 阿部宗起

目的ギャラリーにすべての作品を、

県芸開催は、

五度目。今回は、多

第一席

視聴覚室 上三川町茶華道協会

第四席 第三席 和室 大会議室 大日本茶道学会 星野登仙 宗偏流昇玉会 宇都宮茶華道協会 日光和敬会 高橋秀月

名、大変な混雑のなかのひとときを、 御来席者は呈茶席も含め一八八六 茶道部会

> た時間でした。 待ち申し上げた気遣いを、深く感じ 心意気はひとつ、皆様方を心からお たことと存じます。流派こそ違え、 りのなかで一碗の宇宙を、楽しまれ それぞれのお席のすみずみ迄の気配

各位に感謝、 了させて頂きましたことを、 き届かないながらも、 言葉が、栃木県芸術祭茶華道展を行 の方の御支援、御協力、励ましのお 文化協会、市民文化センター、沢山 県の関係者、鹿沼市長、 御礼申し上げます。 盛況のうち終 文化課、 関係者

きょうまで

生花



# 文芸賞

### 〈創作〉

# 情報の検証と人生観の必要性

### 加葉まひろ

今回の応募総数三十二点、前年比今回の応募総数三十二点、前年比とこでは、それ以外の問題点を挙げるこでは、それ以外の問題点を挙げるこでは、それ以外の問題点を挙げる。

生観が必要である。 証なしに拡散するうわさ話と違っ 無責任なうわさ話と等しくなる。検 それに対するしっかりした検証をし れたものであれば、違和感を覚える ちを削いでしまう。また、内容とず 思う。見ただけで内容がわかってし を検証して書かないかぎり、作品は することになる。事柄の概要、事情 別意識、偏見、精神的未熟さを露呈 なければ、場合によっては作者の差 よって得たものを題材とする場合、 説を書くに当たって文献や見聞に まうタイトルは、読もうとする気持 タイトルを付けていることを残念に し、読後に感動がなくなる。次に小 まず、今回の作品の多くが安易な 創作には情報の検証と作者の人

方と、これまでの生き方である。差方と、これまでの生き方である。差方と、これまでの生き方である。差別しようとして書いているのではないのだろうが、書いた内容が読者にいのだろうが、書いた内容が読者には解されないかどうか、自分の心に誤解されないかどうか、自分の心にはなっても、差別を意識させるような表現は避けたい。また、人間を表できない。今回は特に、中卒、母親できない。今回は特に、中卒、母親できない。今回は特に、中卒、母親できない。今回は特に、中卒、母親なと言うのではない。扱い方に問題となるのが作者の考えがあると言いたいのだ。

### 〈随筆〉

# 面白い作品をさいごまで読者に読んでもらえる

願いしたい。

これから応募される方へのヒント

は、なんといっても「さいごまで読は、なんといっても「古いといっても、おふざけや、どたばたではなく、応おるざけや、どたばたではなく、応続した「上品なユーモアをたたえた、さいごにオチのある作品」を期待する。

だが、今年の入賞作を読んで「こをつけたい。

ではいいである。 このも家内に読んでもらっている。 できれば家族に見てもまい。毎回指摘しているが、一通りたい。毎回指摘しているが、一通りたい。毎回指摘しているが、一通りたい。毎回指摘しているが、一通りのないから結構役に立つ。 読者が目を止めてくれる魅力のある題をお願いし

### 詩

### 詩選評

四名増ということでした。今回は十応募者は、二十八名で昨年度より 我妻 洋

審査対象作品は、一人二編提出と、名のことで計五十六編でした。例年に付きました。中には注を含めて、に付きました。中には注を含めて、に付きました。また、詩というよりは散文と思われる作品も多々ありました。散文詩ならそれで結構なので、どうかな、と疑問符が付く作品を少なくありませんでした。散文詩ならそれで結構なのでは不可欠の作者固有の直観の視座には不可欠の作者固有の直観の視座には不可欠の作者固有の直観の視座というなくありませんでした。散文詩なられますが、残念ながらそのと、どうかな、と疑問符が付く作品を少なくありませんでした。

なく、例年同様でした。社会や政治に関するものはほとんど自然観照的なもの等が多数を占め、に対するもの、自己省察的なもの、また、詩材に付きましては、家族

文芸賞は、今年度も該当作品なし、文芸賞は、今年度も該当者はなしでし U 25賞は、今年も該当者はなしでした。ちなみに入賞者の平均年齢は、た。ちなみに入賞者の平均年齢は、たっちなみに入賞者の平均年齢は、 
大十四・七歳でした。入賞者は、例年 
大中四・七歳でした。入賞者は、例年 
大中四・七歳でした。入賞者は、例年 
大中四・七歳でした。入賞者は、例年 
大中の経験豊富な人が占めますが、 
大学の経験豊富な人が占めますが、 
大学の経験豊富な人が、二名出ました。

特筆されるべきものと思われます。

### 安定か試みか

私見が出たが、決定的な要因を結論 づけることは出来なかった。 をどう見るか、 年度から十五編少ない。この十五減 -度の応募数の四十八編は、昨 審査員の間で様々な

という苦しみと喜びを味わうことが できた。 ある作品の充実ぶりに、久々に選ぶ しかし、その減少数を補って余り

という手順で審議を進めた。 その合計点を参考に最終選考をする が選んだ十編の候補作を点数化し、 考の手がかりの一つであるという観 点数は絶対ではなくあくまでも選 選考の方法は、例年通り各審査員

びを共有できたかと思う。 致をみた作品を選ぶことができた喜 しみ〉があるが、最終的に意見の一 を異にし、短歌観もそれぞれである。 五名の審査員は、 〈安定か試みか〉ここに〈選ぶ苦 それぞれ拠る場

脱字、文法などの間違いがないこと 品の差はどこにあるだろう。誤字や 入賞作と惜しくも選外となった作

> は当然求められるが、タイトルも大 思ったことである。 切な作品の一部であることを改めて

ことを喜びたい。 るような実りの多い作品に出会えた これからの県歌壇の方向性が見え

### (俳句)

# ものの本質を詠む

二、奨励賞五、計八編を決定した。 たのは二十三編。このうち一位点の 度より十三編増)で、順位点がつい は合議をもって文芸賞一、準文芸賞 に至るまで慎重に審議し、最終的に て一句一句はもとより題名の付け方 作品や同点を含む上位十一編につい 今年度応募作品は七十一編(前年

賞には六編が該当。そのうちの一編 たられた先生にも感謝したい。 てくれたことが嬉しいし、指導に当 高校からだが、勇気を持って応募し は高校生からの応募で五編とも同じ 年度初めて授賞を決めた。他の五編 に「将来を期待するものとして」今

ているようだ。また、仮名遣いを現 というより似た漢字を拾ってしまっ プロでの作品が増えたが、変換ミス が、誤記は比較的少なかった。ワー

(川柳)

どう扱うかが今後の課題となろう。

速水峰邨

また、昨年度から設けられたU25

的には得点に拘らない結果となっ

点から慎重な意見交換があり、最終

代語とした場合、季語の送り仮名を 作品のレベルは昨年とほぼ同様だ

# 平易な言葉で心象を

成度を高めるものがあった。 ものが十三作品。「旅行吟」といえ れを意識した作品もあり、一句の完 詠まれていた。初句から終句への流 露されていた。題と作品が大きく離 は、テーマに添って真摯に心象が吐 る二作品が目についた。作品として い」「生きる」などをテーマにした れるものは少なく、即かず離れずで 総じて言える事は「改元・令和」「老

品となった。四人以上の推薦を得た二人以上の推薦を得た作品は十四作 募集要項の応募条件に合わない既発 表句があった事。これらを踏まえて た事を付記しておきたい。 定した。作者名は決定後に知らされ から順次意見交換を行い、各賞を決 五作品と審査員が文芸賞としたもの 残念だったのは、誤字のある句、

頂きたいと思う。 ものがあるので来年も是非応募して を逸した方々にも一句評価では高い なかった。次回に期待したい。入賞 今回「U25賞」に該当する応募が

方々だと思う。過去を想い、 年齢は分からないが人生経験豊富な 人生百年時代とか。応募者の平均

(土・日・祝日を除く)

たいものである。 自分」を平易な言葉で表現していき 句プラス若い人の感性を学び「今の 果てしなく広くて深い。年齢相応の 未来を想像すれば川柳の素材

各部門選評の抜粋

受け取られていない方は、 でお受け取りください。 更になりました。第七十三号をまだ しますが、配布方法が昨年度から変 応募者全員に文芸栃木を贈呈いた



又は送料着払いにより郵送 栃木県文化協会事務局にて T E L (郵送ご希望の方はご連絡ください) 栃木県総合文化センター内 宇都宮市本町1-8 028(643)5288 午前9時~午後5時

▽ 準文短 U 文芸 歌 25 賞賞 <sup>学</sup> ▽ 文創 文芸 芸芸 賞賞 令和元年度栃木県芸術祭受賞者名簿 文詩 文辨U 準文芸賞 準文芸賞 U U 文芸奨励賞 文芸奨励賞 文芸奨励賞 文芸奨励賞 文芸奨励賞 ◇文芸部門 芸 芸 句25 25 25 賞 賞 賞 阿部晴江、大竹照子 和田正子 たなかまさこ、 青木一夫、川 武藤幸子、 村竹弘、 登坂美子、大泉耀子、山口 中村嶺子 春峰ヨ猫、 阿久津多美子、 渡部俊夫、 該当なし 中村実千代、 多賀与四郎、 該当なし 山西えり子 該当なし 該当なし 那須野林道、 該当なし 北村修大、 齊藤宏壽 <del>台澤千代子、</del> **大竹雲漢** 想 くぼかわけんいち 中村実千代 芳井 馬淵のり子 窓辺 小川たか子 許田邦子 対真由美 高橋祚子 田多井祐美子 皆川榮子 八代 昌夫 野み坦 もざ 淳 昭 文川 ▽ 洋 U  $\stackrel{\searrow}{\perp}$ ▽日本画 U 25 賞 芸術祭奨励賞 準芸術祭賞 芸 術 祭 賞 準文芸 善 準芸術祭賞 芸術祭賞 準芸術祭賞 芸術祭賞 彰 U 準芸術祭賞 芸術祭賞 準芸術祭賞 芸術祭奨励賞 芸術祭奨励賞 芸術祭奨励賞 文芸奨励賞 芸術祭奨励賞 U 芸術祭賞 U 美術部門 25 柳 刻25 25 道25 画 25 賞賞 長 長島美津子、石﨑 田平川玲奈、中山光広伊藤好昭 矢津田玲理 川元由美子、 青 青木 操、 篠原 晟、 神長雪華 野澤邦江、 五月女章子、藤沼亜衣鈴木蓮徑、見目月華 永井政夫 鈴木 橋本 木下大輝 小齋林藤 木村滝子、 手塚あゆみ 渡邉照夫、 該当なし 竹内竹ノ花、 馬場はるか 睦、 駿晶 泉 蒼 萩原幹雄 · 青木英子、 川上桂子 Щ 山口 昭、 電藤沙織 柴田重二、 横山直史、 御嵜翔太郎 長竹和子 鈴木三穂子 須藤武夫 旭 松本とまと 渡部芳枝 澤村絹代 Ш 坂本丈夫 田 恵 芸術祭賞 ⇒ 民 U 祭 舞 25 祭 賞 ∀音 ▽ 写 U U 25 芸術祭奨励賞 芸術祭 >吟詠剣詩舞 準芸術祭賞 準芸術祭賞 準芸術祭賞 芸術祭賞 ◇ホール部門 芸術祭奨励賞 芸術祭奨励賞 準芸術祭賞 U 芸術祭奨励賞 芸術祭賞 U 芸術祭奨励賞 準芸術祭賞 楽 謡 25 25 舞 25 真25

松本純美代、

渡邉司寳、

上村千嶂

新星初千代会 足利南扇会

三喜流千津代会

富士流民舞一

一千代会

賞

該当なし

大塚泰代、

栗田忠治

小藤ツネ子、

高山康夫、

髙橋紀子

岡田辰雄、 篠崎きみ子

福田精治

鈴木澪心

西部地区協議会 南部地区協議会 塚田康樹、室井大輔、 下司香雪 井上幸枝 中島志光、 萩野谷香華

賞

小坂國榮

雪田信隆、

高岩重夫

伊藤仁一、増川保紀、

川村孝子、出井栄治、

佐藤治男 鈴木みどり

水森英雄、五十嵐一二

尾花由紀子

₹

本田みち子

賞

賞

該当なし

北部地区協議会

中部地区協議会

黒田 歩、やわらぎ音楽クラブ 鹿沼ポコ・ア・ポコ合唱団

コール・キルシェ 西山好美・河合まりえ

該当なし

# 鹿沼老人クラブ連合会女性部 美佐恵会

# 芸術祭感謝状

▽演 ▽バレエ ◇ホー 劇 ル部門 劇団駄菓子屋ぺんぎん サンセレッソバレエスタジオ K I D

MK.School of Ballet スペイン舞踊スタジオ

ダンスセンターセレニテ クラシカルバレエアカデミー S.O.U.

ヒロコ ダンス スタジオ MFジャズバレエカンパニィ

栃木県三曲協会

☆日本舞踊 喜多流 世流 宝生流 日本舞踊協会栃木県支部

◇茶華道部門 喜観

鹿沼市茶華道協会

上三川町茶華道協会 阿戸部倉 登秀宗哲仙月起仙

宇都宮茶華道協会 鹿沼市茶華道協会 高橋

光和敬会 星 彭

# 芸術祭委員

# 運営委員・専門委員

▽ ▽ 文 芸 ※ 前 第 作 門 ○小島延介、押久保千鶴子、宮部紀子○福田三男、加葉まひろ、永山彦三郎 委員長 小島延介 運営委員

> ▽美 ▽ ▽ ▽ □ ☆ ボール 俳短本画門柳句歌 川俳短詩 ○白石 洋、 )野澤俊雄 )佐藤孝子、 吉田三郎、 鈴木芳子、 平 泉 我 野 暢 行 洋 橋本紀久子

寒月、 佐藤孝義、 委員長 、 阿良山早苗 長 田中定一

▽ ▽ 写書 ▽▽ ▽洋 真道芸刻画 ○中三川清通、 ○重原聖鳥、 ○吉田利雄、 〇中山 〇谷口勇三、 平澤登、 大浦舟人、五江渕霊水 稲葉友宏、 五月女政巳、 舩橋登美治 佐久間藤也 吉田典代 岡﨑昭夫

◇ホール部門 ▽バレエ 劇 ▽ 音 楽 ○柳 宏子、 ○山縣恒雄、 )石川利行、 ○黒田秀月、 小池真美、 吉田成之、 委員長 荻野久一(故 野中琴風、大塚隆豊 加藤睦子 関谷秀明

> 民謡民舞 ○山本藍童、云 ○益子重介、 五十嵐翔峰

▽邦楽 日本舞踊 ○坂東右八朗、 若柳綾佳 石林哲子、塚原那須山 、花柳奈美京

 $\nabla$ 

◇茶華道部門 曲 ○恩田系子、 小野栄二、 委員長 原田 寛子

謡

○柴 ○得納碩邦、○青木宗栄 宗生、○菊地宗秀、 ₹○松本幸月 長 柴﨑秀應

### 審査員

◇文芸部門

刻 作 加葉まひろ、 福富陽子 福 田三男、 永山 彦三郎

随 筆 矢吹清人 押久保千鶴子、 小島延介、 宮部紀子

▽詩 高橋昭 行 野澤俊雄

 $\bigvee$ 

短

歌

泉谷

暁

佐藤孝子

▽俳 旬 石倉夏生、 鈴木芳子、 橋本茂子 大髙亢子、

蓮實淳夫

◇美術部門 Щ 柳 朝海正雄、 速水峰邨、 亀田竹芳、 柳岡睦子 伊藤王子、平野暢行 荻原鹿声

▽洋 Ė 画 青木俊子、 荒井 横塚佳子 佐藤孝義、 杉山寒月、 石川 中村寿生阿良山早芸 大谷喜男

早苗

▽▽ 芸刻 岡﨑昭夫、 松本功全 白石 森戸重臣、 徳 高内秀剛 吉田利雄 五月女政  $\mathbb{E}$ 

書 道 赤澤 井村田千絵、 五江渕霊水、 平山洋子、 柿沼翠流、 重原聖鳥、 久津美碧洋 筆谷淑子 嶋田 周

 $\nabla$ 葊 真 吉田 日賀野 前 田孝憲 大手義雄 菅谷 進

朩 ル

音 ·吟詠剣詩舞 舩田茨翠、田中竜真、 杉田悠昇

▽民謡民舞 岡田 **買峰**、 関根峰月 楯石淡耶 仙波孝修、 増渕貢[



光を灯す。

新しい価値が、生まれる場所に みんなが見上げる、その街の象徴に 人々が安心して暮らす毎日に ずっと続いていく明日に。 私たちは、 総合設備企業の関電工です。



広告募集のお知らせ

栃木県文化協会では、当協会の出版物に広告を募集しています。
各種展覧会、発表会、出版、営業その他のお知らせにご利用いただければ
幸いです。お気軽にお問い合わせください。 (TEL 028-643-5288)

出版物 芸術祭美術展入賞作品集・文芸栃木(各年1回 12月初旬発行)
機関誌 とちぎ文化(年2回 7月上旬 3月下旬発行)
掲載料 1/4ページあたり 10,000円

### 令和2年度第74回栃木県芸術祭(予定)

### ◇文芸賞

実施部門創作・随筆・詩・短歌・俳句・川柳 応募締切 令和2年7月20日(月)

### ◇美術展

○洋画・彫刻・工芸

場 会 栃木県立美術館

期 間 令和2年10月3日(土)~10月15日(木)

期間中の月曜日は休館

令和2年9月26日(土)・9月27日(日) 作品搬入

○日本画・書道・写真

栃木県総合文化センターギャラリー 会 場

令和2年10月31日(土)~11月10日(火) 期

作品搬入 令和2年10月24日(土)·25日(日)

※書道は9月14日(月)締切

### 事務局からのお知らせ

○文化協会では会員の皆様の展覧会やイベントなどをお知らせするチラ シ・はがき等を置くスペースを設けています。直接お持ちいただくか、 郵送していただければ栃木県総合文化センター一階の事務室前に設置い たしますのでご活用ください。



とちぎ文化 第139号

令和2年3月発行

発 行 栃木県文化協会 宇都宮市本町1-8

**2**028(643)5288

印 刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷

去されました。心よりご冥短が、令和元年七月二十五日ごル部門運営委員長の荻野久一 栃木県文化協会副会長

お 悔 や

4



方一氏

### 栃木県文化協会会員(文化団体・賛助会員)

栃木県謡曲連盟

(公社) 日本舞踊協会栃木県支部

栃木県書道連盟

栃木県三曲協会

(一社) 茶道裏千家淡交会栃木県支部

栃木県民謡民舞和楽器団体連絡協議会

栃木県洋舞連盟

栃木県演劇協議会

栃木県吟剣詩舞道総連盟

栃木県青年書作家協会

栃木県オペラ協会

書典会 臥龍会

栃木県交響楽団

### 文 化 団 体

栃木県昂洋会 栃木県工芸会

栃木県合唱連盟 栃木県写真家協会

窓日短歌会

栃木県歌人クラブ

茶道宗門 池坊宝生流

観世流峰雲會

(公財) 日本民謡協会栃木県連合委員会 全日本写真連盟栃木県本部

全日本書写書道教育連合会

栃木県茶華道協会 栃木市茶華道協会

光風会栃木

NPO 法人くるみの会音楽振興会 鹿沼ポコ・ア・ポコ合唱団

喜多流緑扇会

白日会栃木支部 栃木県煎茶道連盟

青竹の会

栃木県彫刻造形協会 くろいそオペラをつくる会 栃木県美術家協会

栃木県新作家集団

Baby Star Entertainment 裏千家柴宗生洗心会

栃木二紀

### **—** 〈 賛 助 会 員

足利小山信用金庫 滝沢ハム株式会社

栃木日産自動車販売株式会社

株式会社栃木銀行

日光山輪王寺

日光二荒山神社

日光東照宮

株式会社下野新聞社

有限会社白木屋本店

株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

株式会社栃木放送

レオン自動機株式会社

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

有限会社高橋平版社

株式会社オオミヤ

伴印刷株式会社

書游松島堂

有限会社宇台額縁専門製作所

株式会社井上総合印刷

株式会社関東整備

株式会社エフエム栃木

株式会社とちぎテレビ

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会

足利不動産株式会社

北関東綜合警備保障株式会社

医療法人北斗会宇都宮東病院

栃木実業株式会社

株式会社とちぎんリーシング

株式会社とちぎんカード・サービス

宇都宮メディア・アーツ専門学校

株式会社興建

株式会社足利銀行

医療法人菅又病院

社会福祉法人薫陶会

村田発條株式会社

株式会社中村製作所

エーセイエネルギー株式会社

株式会社大高商事

学校法人宇都宮学園文星芸術大学

株式会社増渕組

株式会社ユーユーワールド

医療法人社団大衛会比企病院

トヨタウッドユーホーム株式会社

株式会社壮関

環境整備株式会社

株式会社渡辺有規建築企画事務所

株式会社カンセキ

学校法人須賀学園

株式会社ハヤブサドットコム

株式会社ホテルニューイタヤ

株式会社フケタ設計

東亜警備保障株式会社 学校法人作新学院

栃木県済生会宇都宮病院

栃木県県民文化課文化振興担当

株式会社 TKC

近畿日本ツーリスト宇都宮支店

有限会社田野辺運送店

長谷川工機株式会社

株式会社東武宇都宮百貨店

株式会社ネットコア

晃南印刷株式会社

株式会社須山液化ガス

株式会社アクセスホーム

公益社団法人栃木県不動産鑑定士協会 TKC保安サービス株式会社

税理士田島隆雄事務所 秋元稔税理士事務所

税理士法人ITS

大和ハウス工業株式会社宇都宮支社

宇都宮東武ホテルグランデ

あすか中央税理士法人

田村浩税理士事務所

株式会社宇都宮ゴルフクラブ

有限会社アメテック

鈴木工業株式会社

株式会社大栄

株式会社シンワルブテック

株式会社常陽銀行

戸﨑会計事務所

物誉酒造株式会社

フタバ食品株式会社

栃木トヨタ自動車株式会社 株式会社日本栄養給食協会

AIS 総合設計株式会社

渡辺建設株式会社

東京石灰工業株式会社

株式会社関電工栃木支社

KILALA 美術学院

株式会社横倉本店

株式会社フェドラ 株式会社オータニ

株式会社栃木サッカークラブ

北関東ニチユ株式会社

光陽エンジニアリング株式会社

株式会社板橋組

小林酒造株式会社 トヨタカローラ栃木株式会社

医療法人ヒポクラテス 竹村内科 腎クリニック